

令和4年度 県立産業技術専門校 訓練生の就職状況について

～ 「施設内訓練」の就職率は過去10年間で最高 ～

1 公共職業訓練（障がい者訓練を除く）訓練生の就職状況

- 専門校が直接訓練を実施する「施設内訓練」と、民間機関に委託して事務職等を育成する「委託訓練」を合わせた**全体の就職率が80.9%**と、前年度の79.8%を1.1ポイント上回り、高水準を維持（表1～3参照）。
- 「施設内訓練」の就職率は**92.6%**と前年度の87.7%を4.9ポイント上回り、**過去10年間の最高値を記録**した（表1参照）。
- 就職者総数496名のうち、472名が県内企業に就職（**県内就職率：95.2%**）（表1参照）。
- ものづくり人材を育成する新卒者対象の「普通課程」の就職率は**95.0%**と前年度を1.4ポイント下回ったものの、引き続き高水準を維持（表1・3参照）。

▼ 就職率が改善した主な要因（施設内訓練）

- ① 専門校職員の積極的な企業訪問等によるPR活動が、就職先の開拓に繋がった。
- ② 訓練生の関連企業へのインターンシップによる就労体験を通じて、就職先とのマッチングが図られた。
- ③ コロナ禍においても、関係機関と連携してアンケート調査を実施する等、企業ニーズを踏まえた訓練コースの設定に取り組んだ。

【表1 公共職業訓練全体：施設内訓練（普通課程・短期課程）及び委託訓練】（単位：人、%）

区 分	R4年度		(参考) R3年度	
	就職者数	就職率[県内]	就職者数	就職率[県内]
新卒者対象 施設内訓練（直営・普通課程）	57	95.0 [93.0]	53	96.4 [88.7]
離職者対象	439	79.4 [95.4]	512	78.4 [95.7]
施設内訓練（直営・短期課程）	43	89.6 [95.3]	47	79.7 [97.9]
委託訓練（各校が民間機関に委託実施）	396	78.4 [95.5]	465	78.3 [95.5]
合 計	496	80.9 [95.2]	565	79.8 [95.0]

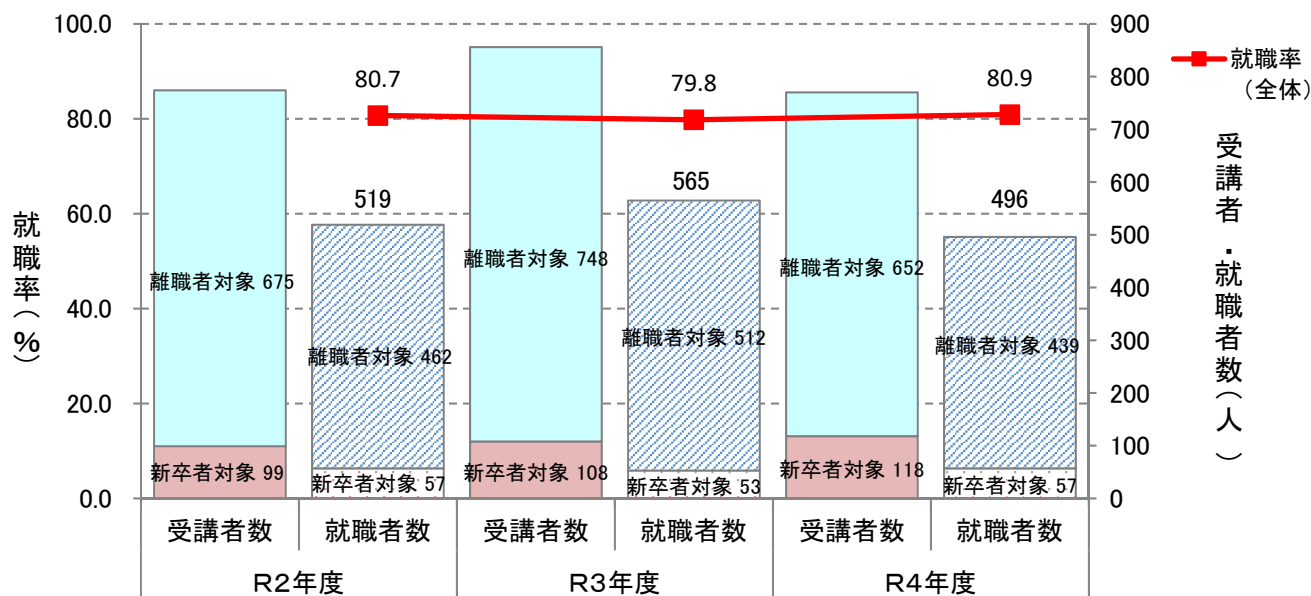
※就職率＝就職者数（就職を理由とする中退者数を含む）／（修了者数＋当該中退者数）

【表1-2 施設内訓練の内訳】

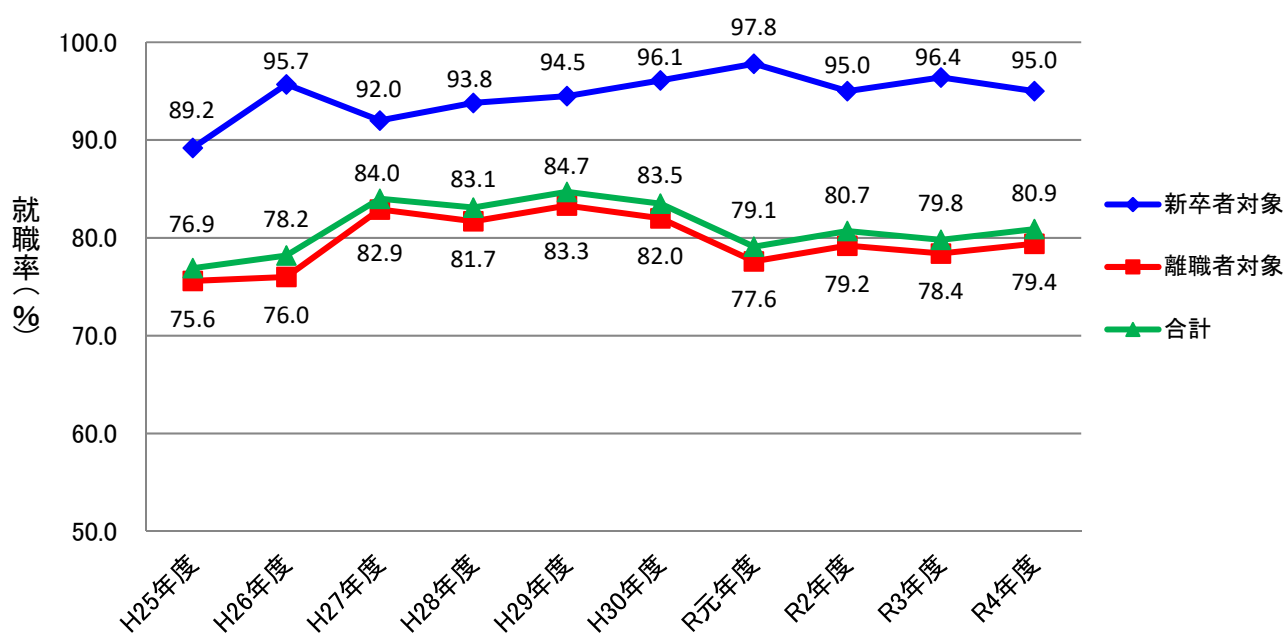
（単位：人、%）

校名及び科名（訓練期間）		R4年度		(参考) R3年度	
		就職者数	就職率	就職者数	就職率
新居浜	メカトロニクス科（2年）	8	100.0	5	100.0
	自動車整備科（2年）	12	100.0	6	100.0
	メタル技術科（2年）	4	100.0	5	100.0
愛媛中央	今治タオルものづくり科（2年）	5	100.0	5	100.0
	服飾モード科（2年）	8	80.0	10	100.0
	ビジネスデザイン科（1年）	12	92.3	13	92.9
	設備エンジニア科（2年）	8	100.0	9	90.0
普通課程計		57	95.0	53	96.4
宇和島	住まいづくり木工科（10か月）	11	91.7	11	78.6
	アパレルビジネス科（10か月）	9	100.0	5	71.4
	介護ヘルパー科（2か月×3回）	23	85.2	31	81.6
短期課程計		43	89.6	47	79.7
合 計		100	92.6	100	87.7

【表2 就職状況の推移】



【表3 就職率の推移】



2 障がい者訓練 訓練生の就職状況

- 障がい者を対象とする職業訓練の就職率は63.4%と、前年度の66.7%を3.3ポイント下回った。(表4～6参照)
- 未就職者に対しては、訓練修了後も就職支援を継続。

▼ 就職率が低下した主な要因

- ・ 積極的な就職支援を行ったものの、訓練修了者の一部に障害福祉サービス（就労継続支援B型事業所：雇用契約を結ばない）を受けた者がおり、結果的に就職に繋がらなかった。

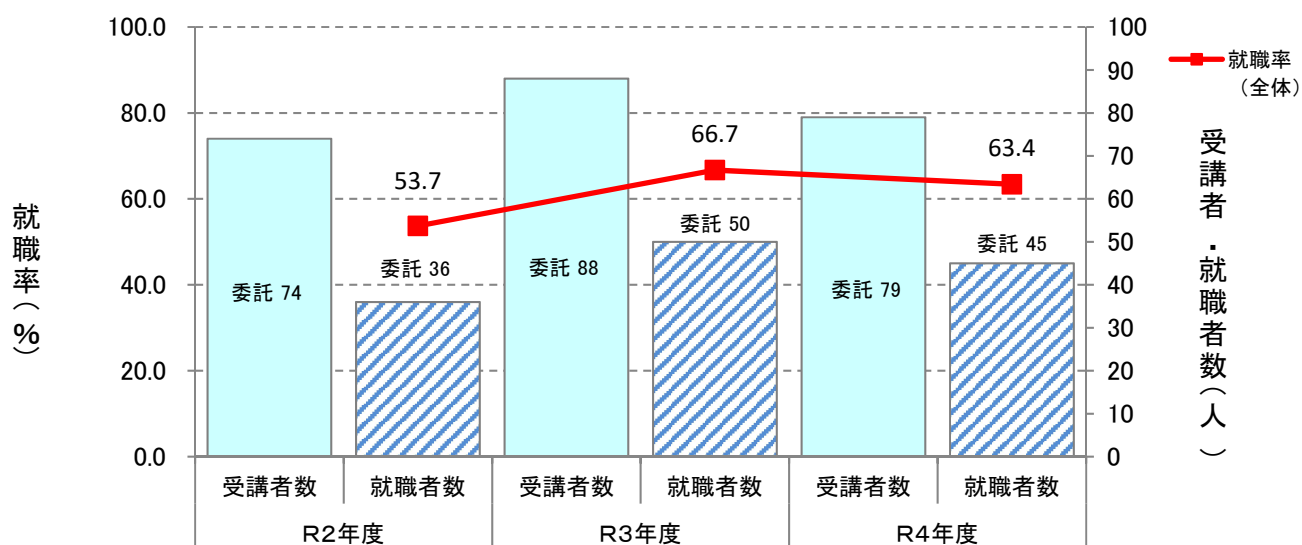
【表4 障がい者訓練(委託訓練)】

(単位:人、%)

区 分 [障がい者訓練]	R 4 年度		(参考) R 3 年度	
	就職者数	就職率	就職者数	就職率
委 託 訓 練 (各校が民間機関に委託実施)	45	63.4	50	66.7
○A総務コース [精神]	10	76.9	7	63.6
○A総務コース [発達]	6	85.7	5	71.4
知識・技能習得科 [身体・知的・精神等]	20	54.1	26	63.4
実践能力習得科 [身体・知的・精神等]	9	64.3	12	75.0
合 計	45	63.4	50	66.7

※施設内訓練(直営)は、R元年度から廃止し、委託訓練に移行

【表5 就職状況の推移】



【表6 就職率の推移】

